

機械器具 12 理学診療用器具
一般医療機器 弾性ストッキング 31724000
らく巻き着圧サポーター

【警 告】

＜運用対象（患者）＞

次の患者に使用する際には、特に注意すること。

1. 深部静脈血栓症の患者。

【本品を装着すると肺血栓塞栓症を起こすおそれがあるため。】

2. 動脈血行障害、うっ血性心不全及び装着部位に炎症性疾患、化膿性疾患、創傷のある患者（創傷がある患者に使用する場合は、ドレッシング材等で被覆してから着用すること）。

【圧迫により症状が悪化するおそれがあるため。】

3. 装着部位に神経障害のある患者。

【血行障害を起こしても認識できないおそれがあるため。】

4. 糖尿病患者。

【無症状の神経障害や血行障害を併発している可能性があり、痛み等の異常を認識できないおそれがあるため。】

5. 繊維に対して過敏症のある患者。

【接触性皮膚炎を起こすおそれがあるため。】

＜使用方法＞

医師が必要と認める場合を除き就寝時は着用しないこと。

【臥位になることで静脈還流等に変化が起こり、患者によっては必要以上の圧迫圧がかかるおそれがあるため。】

【禁忌・禁止】

1. 重度の動脈血行障害、うっ血性心不全及び有痛性青股腫の患者。

【圧迫により症状を悪化させる危険性が高いため。】

2. 感染性静脈炎の患者。

【菌血症や敗血症を発生、増悪させるおそれがあるため。】

3. 装着部位に極度の変形を有する患者。

【適正な圧迫圧が得られないため。】

【形状・構造及び原理等】

代表的写真



上辺巾	下辺巾	高さ
63 mm	52 mm	34 mm

素材：ナイロン・ポリウレタン

着用数値＜圧迫圧＞目安：15～30 mmHg

【作動・動作原理】

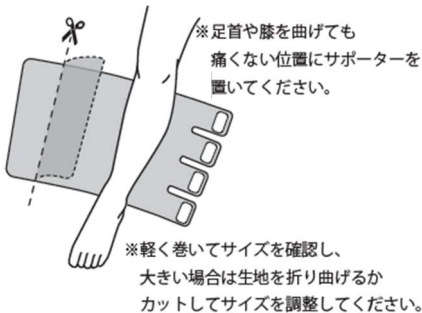
本品を脛脛に装着することにより、末梢から中枢に向かい漸減的に圧迫を加え、静脈還流を促進し、脛脛の静脈血およびリンパ液のうっ滞を軽減又は予防する。

【使用目的又は効果】

本品は、四肢の静脈血、リンパ液のうっ滞を軽減又は予防する等、静脈還流の促進を目的に使用される医療用の弾性ストッキング等（腕用の弾性スリーブも含む。）である。末梢から中枢に向かい漸減的に圧迫を加える機能を有する。

【使用方法等】

1. ふくらはぎのサイズに合わせて生地を折り曲げるかカットします。



2. ふくらはぎを覆うように足首側から仮止めを行います。



3. 本止めを行います。



4. サポーターのゆるみ・ズレがないか確認します。

※ゆるみ・ズレがある場合は、
適宜巻き直してください。



【使用方法等に関連する使用上の注意】

1. 次の患者には慎重に適用すること。
 - 患者との意思疎通が困難な場合には患者の状態をよく観察して使用すること。〔動脈及び静脈の血行障害又は神経障害等が生じた際に、発見が遅れるおそれがある。〕
 - ギブス、外傷等により装着部位が長時間不動状態にある患者には、注意して使用すること。〔潜在的に深部静脈血栓症を発症している可能性がある。〕
 - 本品の使用により、脚に疼痛、しびれ、皮膚や爪の変色、皮膚温の低下、かゆみ、発疹、かぶれ等の異常及びその他装着前に感じなかった不快感、違和感が生じた場合は、直ちに使用を中止すること。〔動脈及び静脈の血行障害又は神経障害等を発症するおそれがある。〕
2. 様子をみながら短時間から使い始めてください。
3. 使用中に気分が悪くなる等、体に異常を感じた時は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。
4. 面ファスナーの装着面に塵や埃が付着した場合はこまめに取除いてください。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

1. 正しい圧迫圧を得るため、サイズが大きい場合は、折り曲げるか適宜カットしてください。
2. 圧迫圧の過不足を防ぐため、たるみやしわのないように装着すること。本品が、装着中にたるんだり、しわが寄ったり、ずり落ちたり、誤った位置に装着されている場合には正しく装着しなすこと。〔適正な圧迫圧が得られず、また、血行障害や神経障害及び圧迫性潰瘍を引き起こすおそれがあるため。〕
3. 腫脹の軽減等により装着中に各部位の周径が変わった場合は、適切なサイズに変更すること。
4. 本品に、破損（はつれ、破れ等）がないことを確認してから装着すること。破損がある場合は適正な圧迫圧が得られないため使用しないこと。
5. 本品は繊維製品のため、次のような場合には破損することがあるので注意すること。
 - (1) 強く引き伸ばしての装着
 - (2) 爪が伸びていたり、反っていたりする足への装着
 - (3) 肌荒れした手や伸びた指の爪での取扱い
 - (4) 鋭利なものへの接触
 - (5) 指輪、ブレスレットをつけたままでの装着

6. 本品は圧迫療法に精通した術者が、必ず装着者に使用方法を説明し、正しい装着手順で使用を開始すること。また患者との意思疎通が困難な場合には、看護、介護、介添する者に使用方法を説明すること。
7. 軟膏等の薬品や油脂、溶剤等が付着すると繊維が劣化するので付着しないよう注意すること。
8. 他の製品と組み合わせて併用する場合は、生地の変形、圧迫圧に十分注意して使用すること。〔適正な圧迫圧が得られず、また血行障害や神経障害及び圧迫性潰瘍を引き起こすおそれがあるため。〕
9. 面ファスナーは、着脱時には生地が傷むため無理やり引っ張らず、ゆっくり剥がすこと。
10. 使用時又は洗濯時に糸くず等が付着することにより粘着力が低下することがあるため、適時糸くず等を除去して使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

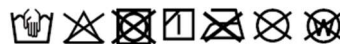
【保管方法】

- ・ 直射日光、水濡れ、高温、多湿な環境をさけて保管すること。
- ・ しばらく使用しない時は一度干してから、湿気のない場所で保管すること。
- ・ ダニ、カビを防ぐため使わない時でも、時々日に干して乾燥させ、収納場所も乾燥させること。

【保守・点検に係る事項】

- ・ 弱アルカリ性洗剤を用いて、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機・乾燥機は使用しないでください。
- ・ 漂白剤は使用しないでください。
- ・ 手洗後は、タオルで包んで水分を取り、風通しの良い日陰に干してください。
- ・ 湿った状態で摩擦すると、他の物に色移りする場合があります。

【洗濯絵表示】



【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

問い合わせ先： 株式会社タカギ
（製造元） 電話：0744-22-6551

製造販売業者名： 株式会社タカトリ